

## 第 5 回 歴史文化保存展示施設専門検討委員会 意見要旨《発言順》

議題(1)「活用部会副部会長の選出について」		
No.	内容	
	樋野淳巳委員が活用部会副部会長に選出	
議題(2)「歴史文化保存展示施設の展示の考え方・内容について」 (展示部会)		
No.	内容	
1	展示部会長 説明	資料 1 に基づき、展示部会の検討状況の報告
2	意見	展示部会の検討状況については賛成である。 石央文化ホール女子神楽同好会を見ても、神楽に対する関心の高さがうかがえ、導入で神楽を展示することはよい。 また、人物を通して歴史展示を行うことも大事である。
3	質問	収蔵庫はどうなっているのか。収蔵についても議論を深める必要がある。
	事務局	整備方針においては、世界こども美術館内の改修で対応することとなっている。ただ、これまでの検討の中において、市長からも指示があったように、増設部分においても工夫をして、収蔵スペースを設けるように検討したい。
4	質問	増設部分には、資料閲覧スペースなどは考えていないのか。浜田郷土資料館には多くの書籍等の資料がある。
	事務局	資料閲覧スペース等については、既存の建物スペースで対応ができると考えている。
5	意見	来館者は小学校低学年がメインとなる。この年齢層に届く展示について議論を深める必要があり、活用部会とのすり合わせも必要である。
6	意見	新しい歴史文化保存展示施設は、ふるさと郷育の拠点となりうるもので、学校現場の声を反映させる必要がある。 また、「浜田とは？」という疑問に答えられる施設であるべきである。一方で市民が思っている「浜田とは」に対する意見も取り込めれば、地域からも支えられる施設になろう。

議題(3) 「歴史文化保存展示施設で行う活動内容について」  
(活用部会)

No.	内容	
1	活用部会長 説明	資料2に基づき、活用部会の検討状況の報告
2	意見	活用の最大のポイントは、活用委員会などを組織し、施設と学校との定期的な会合をおこなうことである。
3	意見	<p>浜田郷土資料館における小学校3年生の民具学習の様子を見ると、実際にものに触れてもらうことが大切だと感じる。触れることで感動が生まれることがあり、体験が重要である。</p> <p>施設内の資料で触れることが難しいのであれば、出前授業などで、そのような機会を作ることが大切である。</p>
4	意見	<p>郷土学習に関しては、島根県埋蔵文化財調査センターでは指導要領を作成している。</p> <p>松江の小学校の古墳学習では、事前学習後に現地見学を実施した。一つのテーマでも、準備等も含めて多くの時間が必要となるため、各学校・地域の特性を活かした的確な活動が大事である。</p>
5	意見	<p>ふるさと郷育は各学校が内容を考えて実施している。このため歴史学習とは限らない。歴史文化保存展示施設での利用が見込まれるのは、小学校3年生の社会科と6年生の歴史である。</p> <p>3年生の民具学習においては、展示室以外の別部屋で民具に触れることなどができればよい。このような体験が必要かどうかは学年によるため、今年度の社会科部会でも検討を行いたい。</p>
6	意見	<p>20年ほど前の話になるが、周布小学校時代に親子遠足として遺跡巡りをした経験があり、雲雀ヶ丘小や長浜小でも実施した。小学生にとって、親子で活動したことは効果があったと感じている。小・中学校とも時間がないのは事実であるが、子どもたちの歴史への動機付けのためにも必要である。</p> <p>また、先生に浜田について知ってもらうことも重要である。</p>
7	意見	ふるさと学習は先生によって差がある状況にある。先生がふるさと学習の必要性を認識する必要がある、教育委員会が方針を定めるなど、率先して動いてもいいのではないかと。
8	意見	<p>校長先生の考えで、ふるさと学習の方針が決まる。校長会でも、ふるさと郷育の大切さをアピールしたほうがよい。</p> <p>金城資料館などは修学旅行先になった。県内・県外の修学旅</p>

		行でも利用されるような施設になるといい。
9	意見	浜田市の保護者会のあり方は承知していないが、松江市や出雲市では、保護者会で歴史講座をしてことがある。学校だけではなく、保護者会にも働きかければ、より輪が広がる。
10	意見	<p>前提条件の整理として、学校との連携、世界子ども美術館との連携が必須であろう。</p> <p>初めて歴史に触れる小学校3年生や4年生が、浜田の大地から近現代に至るまで学習するのはボリュームがあり、限られた時間で理解するのは大変だと感じる。また、説明の良し悪しが学習理解を左右するため、学芸員の質が問われる。これらに対応するためには、音声ガイドが有効である。音声ガイドのバージョンも複数あり、一般向け、外国人向け、子ども向けを作っているところもある。映像コンテンツも含めて、このようなテクニカルな要素を取り入れた方がよい。</p> <p>また、世界子ども美術館や技術革新のことを考えると、展示解説ロボットの導入も考えてもいいのではないか。</p>
11	会長総括	本日は各部会の検討状況の報告を聞いた。この素材をもとに、今後は各部会において、さらなる議論を深めていただきたい。
12	意見 (小松原)	民具学習の1例として、現在の電卓と昭和40年代の手動式計算機を用いた際に、とても好評であった。